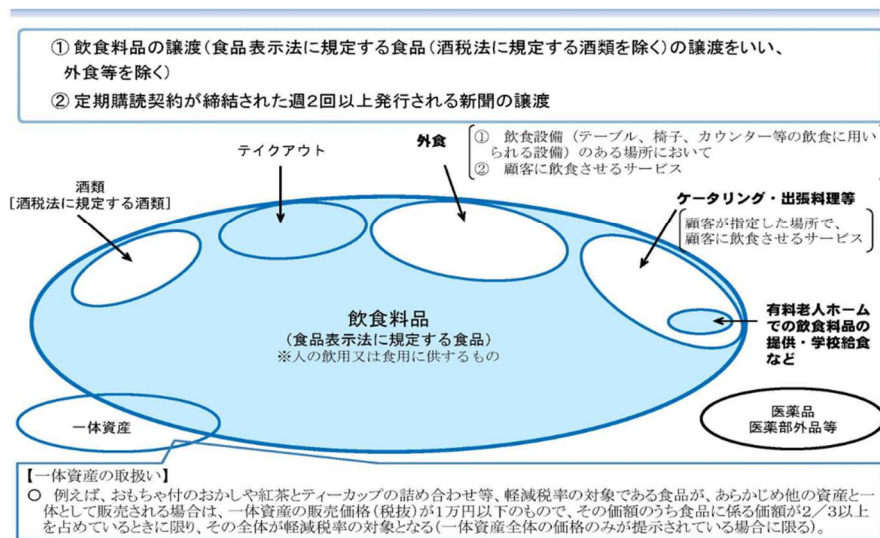


消費税軽減税率制度の対象品目

軽減税率制度の対象品目



出典:財務省資料

TAX ニュースレター

東 栄 税 理 士 法 人

03-5778-4722

<http://toeitax.co.jp/>

2018/06 月号

消費税改正①食料品は 8%, 外食は 10%

食料品は軽減税率

今月からは数回に渡って H31/10 から 10%へ増税される消費税の改正について解説したいと思います。今回の消費税の改正は今までのように単純に 10%に上がるだけではなく、**軽減税率やインボイス制度の導入など消費税導入以来最大の改正**となっています。今回はそのうち軽減税率の導入についてです。

H31/10 の増税と同時に、初めて複数の税率が適用されることになっています。具体的には、「**飲食料品の譲渡**」と「**定期購読契約がされた新聞の譲渡**」のみが**増税後も軽減税率として 8%の税率が適用**されます。

このうち特に飲食料品については内容も複雑で飲食店などは実務上の影響は大きいでしょう。上図にあるとおり、**食料品の購入やテイクアウトは 8%**ですが、**酒類・外食は 10%**です。販売価額の調整やレジシステムの買換えなどが必要になってきます。

新聞も軽減税率…？

コンビニで食料品を買う場合普通に買えば 8%ですが、**イートインコーナーで食べる場合は外食として 10%**です。**ハンバーガーを店で食べる場合は 10%で持ち帰りなら 8%。なら持ち帰りとして買って店で開けて食べれば 8%**…増税後の混乱が容易に想像できます。

ところで、食料品が軽減税率なのは分かりますが、**なぜか新聞** (スポーツ新聞や業界新聞などは対象外) も**軽減税率**となりました。しかも**今どき紙媒体のみで電子新聞は対象外**。新聞紙では当時しきりに新聞の存在意義を発信し国への働きかけも功を奏し無事軽減税率を手に入れましたが、今後国や政府に耳が痛い情報をきちんと伝えてくれるのでしょうか。軽減税率により失ったものの方が大きいのでは。

いずれにしてもこの軽減税率は政治家へお金を生みやすい制度で今後対象品目は確実に増えていくでしょう。

今月のコメント

先日娘の運動会がありビデオを片手に見て参りました。昨年はかけっこで横の子を見ながら走っていて負けたので、今年は横を見ないように数日前から促し、走り方も勉強させようと思い YouTube で専門家が教えている映像を見せ勉強させました。今どきは「小学生、走り方」で検索すればすぐに素晴らしい映像を見て勉強することができます。良い時代になったものです。

結果は見事 1 位でした (6 人中)。

税理士 岡本勲

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-10-15 エキスパートオフィス渋谷 9 階

Email : okamoto@toeitax.co.jp



東栄税理士法人